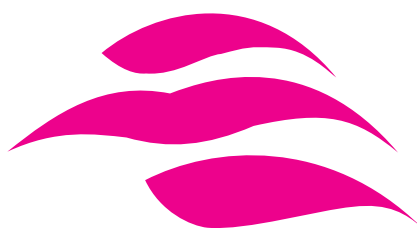


関西文化学術研究都市 建設推進に向けて



平成 23 年 7 月

関西文化学術研究都市建設推進協議会

平素より、関西文化学術研究都市（愛称「けいはんな学研都市」）の建設推進に特段のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

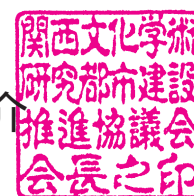
さて、本都市は、昭和62年に制定された関西文化学術研究都市建設促進法に基づき、京阪奈丘陵において、文化創造・学術研究の拠点形成に向けて建設が進められ、数多くの大学や研究関係機関が産学公連携のもと先進の研究開発を行っております。また、本都市は平成22年4月に次世代エネルギー・社会システム実証地域の指定を受けるなど、世界的な課題である持続可能社会のための科学の推進と新たな産業の創出に向け積極的に取り組んでいます。

我が国は東日本大震災による未曾有の被害を受け、復興に向けた施策が重点的に実施されると思われませんが、本都市も様々な側面から我が国の復興や経済成長を支えていく所存ですので、平成24年度政府予算の編成等に際し、格段の御高配を賜りますようお願いいたします。

平成23年7月

関西文化学術研究都市建設推進協議会

会 長 森 詳 介



代表委員

関西経済連合会会長	森 詳介
京 都 府 知 事	山田 啓二
大 阪 府 知 事	橋下 徹
奈 良 県 知 事	荒井 正吾
京都商工会議所会頭	立石 義雄
大阪商工会議所会頭	佐藤 茂雄
奈良商工会議所会頭	西口 廣宗

関西文化学術研究都市推進機構

理 事 長 柏原 康夫

◇ 民主党幹事長室	3
◇ 内閣官房	4
◇ 内閣府	6
◇ 総務省	8
◇ 財務省	12
◇ 文部科学省	14
◇ 厚生労働省	20
◇ 経済産業省	21
◇ 国土交通省	28
◇ 環境省	33

【民主党幹事長室】

◆ 国立国会図書館関西館

国立国会図書館関西館は、平成14年開館以来、文化学研究等に関する「知」の宝庫であり、本都市の文化創造・情報発信の中核的施設として大きな役割を担っています。

つきましては、引き続き、収蔵資料の増加に対応した本施設の一層の整備・拡充に向けて支援をお願いします。

また、高度情報通信技術の発展に対応した幅広い電子図書館サービスの拠点としての一層の充実、加えて、公立図書館をはじめ企業、大学等との幅広い連携協力の推進についても支援をお願いします。

【内閣官房】

◆ 「けいはんな学研都市」をはじめとし関西が一体となった国際戦略総合特区の提案

国際戦略総合特区の提案については、関係各府県及び政令市が協力し、関西の各拠点の研究開発や事業化等の取組を連携させることにより、環境・新エネルギー、ライフサイエンス分野において、我が国を牽引する新たなビジネスの創出及び海外へのビジネス展開等を目指して取組みを進めています。

その中で、けいはんな学研都市は、次世代エネルギー・社会システム実証事業やヘルスケア関連産業の先端研究等、国内外の英知を結集した世界トップレベルの研究開発拠点として次の役割を担います。

①健康・医療・バイオ系産業創出戦略

粒子線がん治療法の実用化を目指すなど、世界をリードする健康・医療産業の振興のため、ライフイノベーションを牽引します。

②環境・新エネルギー産業創出戦略

日本型スマートグリッドの構築を目指す次世代エネルギー・社会システム実証事業をはじめ、CO₂の地下貯留技術、バイオ燃料の開発など、低炭素で効率の良いエネルギー需給調整システムを早期に構築し、それを一つのパッケージとして世界標準を目指すグリーンイノベーションを牽引します。

③オープンイノベーション拠点機能の強化

環境・新エネルギー、健康・医療、食糧・アグリバイオなどの分野の世界的課題を解決するため、国内外から幅広い知見を有する研究者を集め、基礎研究から新ビジネスの創出までを行う、オープンイノベーション拠点機能を強化します。

我が国の発展及び世界経済への貢献のため、けいはんな学研都市を含む地域を関西の国際戦略総合特区として指定いただきますようお願いいたします。

【内閣府】

◆ 「けいはんな学研都市」をはじめとし関西が一体となった国際戦略総合特区の提案

国際戦略総合特区の提案については、関係各府県及び政令市が協力し、関西の各拠点の研究開発や事業化等の取組を連携させることにより、環境・新エネルギー、ライフサイエンス分野において、我が国を牽引する新たなビジネスの創出及び海外へのビジネス展開等を目指して取組みを進めています。

その中で、けいはんな学研都市は、次世代エネルギー・社会システム実証事業やヘルスケア関連産業の先端研究等、国内外の英知を結集した世界トップレベルの研究開発拠点として次の役割を担います。

①健康・医療・バイオ系産業創出戦略

粒子線がん治療法の実用化を目指すなど、世界をリードする健康・医療産業の振興のため、ライフイノベーションを牽引します。

②環境・新エネルギー産業創出戦略

日本型スマートグリッドの構築を目指す次世代エネルギー・社会システム実証事業をはじめ、CO₂の地下貯留技術、バイオ燃料の開発など、低炭素で効率の良いエネルギー需給調整システムを早期に構築し、それを一つのパッケージとして世界標準を目指すグリーンイノベーションを牽引します。

③オープンイノベーション拠点機能の強化

環境・新エネルギー、健康・医療、食糧・アグリバイオなどの分野の世界的課題を解決するため、国内外から幅広い知見を有する研究者を集め、基礎研究から新ビジネスの創出までを行う、オープンイノベーション拠点機能を強化します。

我が国の発展及び世界経済への貢献のため、けいはんな学研都市を含む地域を関西の国際戦略総合特区として指定いただきますようお願いいたします。

◆ 第4期科学技術基本計画への本都市の位置付け

第4期科学技術基本計画については、東日本大震災を踏まえ見直しが行なわれておりますが、研究開発機能のリスク分散の観点からも、第3期に引き続き、産学官の総合力を発揮する機関・体制の集積が進んでいる本都市を、筑波研究学園都市と同様に国際的な研究開発拠点として、明確に位置付けることをお願いいたします。

基本計画にオープンイノベーション拠点として位置付けることで、本都市および周辺地域の強みである環境・エネルギー、情報通信、バイオ分野を融合させた産学官連携による研究及び産業振興が一層強化されることに加え、拠点整備を通じて、非常時には多様な分野の研究課題、研究者を受け入れる「場」として本都市を活用し、我が国の研究開発環境の維持に貢献できます。

【総務省】

◆ 「けいはんな学研都市」をはじめとし関西が一体となった国際戦略総合特区の提案

国際戦略総合特区の提案については、関係各府県及び政令市が協力し、関西の各拠点の研究開発や事業化等の取組を連携させることにより、環境・新エネルギー、ライフサイエンス分野において、我が国を牽引する新たなビジネスの創出及び海外へのビジネス展開等を目指して取組みを進めています。

その中で、けいはんな学研都市は、次世代エネルギー・社会システム実証事業やヘルスケア関連産業の先端研究等、国内外の英知を結集した世界トップレベルの研究開発拠点として次の役割を担います。

①健康・医療・バイオ系産業創出戦略

粒子線がん治療法の実用化を目指すなど、世界をリードする健康・医療産業の振興のため、ライフイノベーションを牽引します。

②環境・新エネルギー産業創出戦略

日本型スマートグリッドの構築を目指す次世代エネルギー・社会システム実証事業をはじめ、CO₂の地下貯留技術、バイオ燃料の開発など、低炭素で効率の良いエネルギー需給調整システムを早期に構築し、それを一つのパッケージとして世界標準を目指すグリーンイノベーションを牽引します。

③オープンイノベーション拠点機能の強化

環境・新エネルギー、健康・医療、食糧・アグリバイオなどの分野の世界的課題を解決するため、国内外から幅広い知見を有する研究者を集め、基礎研究から新ビジネスの創出までを行う、オープンイノベーション拠点機能を強化します。

我が国の発展及び世界経済への貢献のため、けいはんな学研都市を含む地域を関西の国際戦略総合特区として指定いただきますようお願いいたします。

◆ (株) 国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)

①情報通信に関する地域の研究開発拠点の活性化の推進

地場産業、伝統文化、観光資源をそろえたけいはんな学研都市の特性、強み、国際的な認知度を活かした、地域の活性化に繋がる研究開発拠点の整備・拡充のための支援をお願いします。特に情報通信分野では、脳情報とロボットに関する研究の拠点化が進んでおり、これらを中心とした国際研究拠点構想の実現が強く望まれます。

②「戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)」の拡充

国民の安心・安全の確保、地域の活性化などに貢献し、豊かなユビキタス社会を築くことを目的としたICT分野における競争的資金制度の「戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)」を拡充していただくようお願いします。

障害者や高齢者を補助する生活支援・医療介護に活躍するロボットの実現や、脳情報の解析等による新たな研究成果の創出など、ICT産業の一層の振興が図られます。

③「地球温暖化対策ICTイノベーション推進事業(PREDICT)」の拡充

国際的に喫緊の課題である地球温暖化対策に資する、CO₂排出削減、省エネルギーに貢献することを目的とした競争的資金制度の「地球温暖化対策ICTイノベーション推進事業(PREDICT)」

CT)」を拡充していただくようお願いします。

企業や家庭を高機能な情報通信ネットワークにより接続・管理し省エネルギー化を進めるシステムの実現が期待されます。

◆ **（独）情報通信研究機構（NICT）「ユニバーサルコミュニケーション研究所」及び「けいはんな情報通信オープンラボ」**

立体映像、立体音響、認知メカニズムなどの超臨場感システムに関する技術、及び言語・文化・能力の壁を越え、心が通うコミュニケーション技術などのユニバーサルコミュニケーションの実現のための研究開発を推進しています。これらは新たに巨大な市場を切り拓く可能性があり、早急に規模を拡充する必要があります。また、当研究所の「けいはんな情報通信オープンラボ」等の施設を活用し、産学官が連携した地域における情報通信分野の研究開発推進や、専門家の育成等を併せた人材の育成等の強化を図っております。

つきましては、新たな産学官連携のために、言語や情報処理、超臨場感などのユニバーサルコミュニケーション技術の研究開発促進と、それらの研究拠点とした成果の発信や人材育成、「けいはんな情報通信オープンラボ」の施設のさらなる充実について支援をお願いします。

◆ 文化学術研究交流施設「けいはんなプラザ」及び京都府立大学 産学公連携研究拠点施設の活用

(株) けいはんなは、平成20年度の民事再生計画に基づき施設の一部を京都府に寄付し、平成29年度の再建完了を目指し、新しい枠組みで「けいはんなプラザ」の管理・運営を行っています。

特に、施設の中核をなす「京都府立けいはんなホール」を中心に大規模な国際コンベンションや国内の様々な学会を数多く誘致し、国際的な技術・研究開発拠点としてけいはんなプラザを活用して頂くとともに、様々な民間企業との共催イベント開催に対する支援など、(株) けいはんなに対する総合的な支援をお願いします。

また、本年4月には京都府立大学精華キャンパスの産学公連携研究拠点施設が開所し、太陽光発電を利用した水循環型の新しい植物工場の実現を目指した取組が進められているところであり、環境負荷の軽減を通じて東日本大震災の被災地支援にもつながる産学公連携の取組みに対する総合的な支援をお願いします。

【財務省】

◆ 「けいはんな学研都市」をはじめとし関西が一体となった国際戦略総合特区の提案

国際戦略総合特区の提案については、関係各府県及び政令市が協力し、関西の各拠点の研究開発や事業化等の取組を連携させることにより、環境・新エネルギー、ライフサイエンス分野において、我が国を牽引する新たなビジネスの創出及び海外へのビジネス展開等を目指して取組みを進めています。

その中で、けいはんな学研都市は、次世代エネルギー・社会システム実証事業やヘルスケア関連産業の先端研究等、国内外の英知を結集した世界トップレベルの研究開発拠点として次の役割を担います。

①健康・医療・バイオ系産業創出戦略

粒子線がん治療法の実用化を目指すなど、世界をリードする健康・医療産業の振興のため、ライフイノベーションを牽引します。

②環境・新エネルギー産業創出戦略

日本型スマートグリッドの構築を目指す次世代エネルギー・社会システム実証事業をはじめ、CO₂の地下貯留技術、バイオ燃料の開発など、低炭素で効率の良いエネルギー需給調整システムを早期に構築し、それを一つのパッケージとして世界標準を目指すグリーンイノベーションを牽引します。

③オープンイノベーション拠点機能の強化

環境・新エネルギー、健康・医療、食糧・アグリバイオなどの分野の世界的課題を解決するため、国内外から幅広い知見を有する研究者を集め、基礎研究から新ビジネスの創出までを行う、オープンイノベーション拠点機能を強化します。

我が国の発展及び世界経済への貢献のため、けいはんな学研都市を含む地域を関西の国際戦略総合特区として指定いただきますようお願いいたします。

【文部科学省】

◆ 「けいはんな学研都市」をはじめとし関西が一体となった国際戦略総合特区の提案

国際戦略総合特区の提案については、関係各府県及び政令市が協力し、関西の各拠点の研究開発や事業化等の取組を連携させることにより、環境・新エネルギー、ライフサイエンス分野において、我が国を牽引する新たなビジネスの創出及び海外へのビジネス展開等を目指して取組みを進めています。

その中で、けいはんな学研都市は、次世代エネルギー・社会システム実証事業やヘルスケア関連産業の先端研究等、国内外の英知を結集した世界トップレベルの研究開発拠点として次の役割を担います。

①健康・医療・バイオ系産業創出戦略

粒子線がん治療法の実用化を目指すなど、世界をリードする健康・医療産業の振興のため、ライフイノベーションを牽引します。

②環境・新エネルギー産業創出戦略

日本型スマートグリッドの構築を目指す次世代エネルギー・社会システム実証事業をはじめ、CO₂の地下貯留技術、バイオ燃料の開発など、低炭素で効率の良いエネルギー需給調整システムを早期に構築し、それを一つのパッケージとして世界標準を目指すグリーンイノベーションを牽引します。

③オープンイノベーション拠点機能の強化

環境・新エネルギー、健康・医療、食糧・アグリバイオなどの分野の世界的課題を解決するため、国内外から幅広い知見を有する研究者を集め、基礎研究から新ビジネスの創出までを行う、オープンイノベーション拠点機能を強化します。

我が国の発展及び世界経済への貢献のため、けいはんな学研都市を含む地域を関西の国際戦略総合特区として指定いただきますようお願いいたします。

◆ 第4期科学技術基本計画への本都市の位置付け

第4期科学技術基本計画については、東日本大震災を踏まえ見直しがなされておりますが、研究開発機能のリスク分散の観点からも、第3期に引き続き、産学官の総合力を発揮する機関・体制の集積が進んでいる本都市を、筑波研究学園都市と同様に国際的な研究開発拠点として、明確に位置付けることをお願いいたします。

基本計画にオープンイノベーション拠点として位置付けることで、本都市および周辺地域の強みである環境・エネルギー、情報通信、バイオ分野を融合させた産学官連携による研究及び産業振興が一層強化されることに加え、拠点整備を通じて、非常時には多様な分野の研究課題、研究者を受け入れる「場」として本都市を活用し、我が国の研究開発環境の維持に貢献できます。

◆ 京都大学大学院農学研究科附属農場移転等整備事業の推進

食糧問題、環境問題、エネルギー問題などといった人類生存に深く関わる地球的規模の課題解決に向けた次世代農学の教育・研究の発展に資するため、京都大学大学院農学研究科附属農場の木津中央地区への円滑な移転に対し、引き続きご支援をお願いいたします。

本事業の成功により、産公学連携によるプロジェクトの創出や国内外から研究者等が多数訪れることで、地域の活性化に寄与するものとなり、地域経済の活発化にも大きな役割を担うことが期待されます。

◆ 奈良先端科学技術大学院大学教育研究体制の整備

先端科学技術分野の総合的な教育研究拠点として、また本都市の学術研究拠点としての整備を着実に推進するため、

- ① 社会的要請が高い3研究科の学術分野であるIT、バイオ、ナノテクノロジーの着実な進展
- ② 3研究科の連携による学際・融合領域の新たな開拓
- ③ 常に最先端の教育研究に対応できる基盤設備整備

を目的とした教育研究活動の基盤となる運営費交付金の確保と科学研究費補助金や産官学連携推進等に係る競争的資金の制度拡充をお願いします。

先端的な研究分野において、国内外から賞賛される高い研究成果を継続して挙げるのが可能となり、このことが、国内外より優れた研究者の交流を促進し、それらの相乗効果による世界トップレベルの教育研究環境により国際競争力を備え、グローバルで柔軟な人材育成機能が強化されることが期待されます。

◆ 地域イノベーション戦略支援プログラムの拡充・強化

地域イノベーション戦略支援プログラムをさらに拡充・強化されますようお願いいたします。

高齢化社会による医療費負担の急増、高度ストレス社会による心の病の増加など、我が国の健康医療に関わる課題が顕著になるなか、今後は国民一人一人が自分の健康は自分で守るとの認識のもと、快適に長寿生活を送ることが望まれています。

けいはんな学研都市地域は、平成22年度まで地域イノベーションクラスタープログラム【都市エリア型】の「ユビキタス生体計測ヘルスケアデバイス・システムの開発」に取り組み、在宅での健康見守りシステムの骨格を整えてきました。

今後は、非侵襲・無拘束で行う無意識生体計測の研究、未病気状

態での生活習慣病やストレス障害の予兆発見の研究を加えて、心と体の健康を見守る「けいはんなヘルスケアシステム」を開発し、国民の健康管理及び医療費削減、地域産業の振興等に寄与します。

◆ イノベーションシステム整備事業（地域イノベーション戦略支援プログラム）広域化プログラムの推進支援

「京都環境ナノクラスター」として文部科学省の「イノベーションシステム整備事業（地域イノベーション戦略支援プログラム）」にて、その研究成果を世界に普及するため、アジア、特に中国北京市中関村科技園区や陝西省等政府及び環境関連企業への水処理技術の移転等の環境ビジネスの促進を、関西の環境関連企業を中心に、京都府、（公社）関西経済連合会、京都大学などによる産学公連携のもと、「広域化プログラム」として、国際交流事業を展開しておりますので、引き続き、本プログラムによる支援をお願いします。

◆ 文化学術研究交流施設「けいはんなプラザ」及び京都府立大学産学公連携研究拠点施設の活用

（株）けいはんなは、平成20年度の民事再生計画に基づき施設の一部を京都府に寄付し、平成29年度の再建完了を目指し、新しい枠組みで「けいはんなプラザ」の管理・運営を行っています。

特に、施設の中核をなす「京都府立けいはんなホール」を中心に大規模な国際コンベンションや国内の様々な学会を数多く誘致し、国際的な技術・研究開発拠点としてけいはんなプラザを活用して頂くとともに、様々な民間企業との共催イベント開催に対する支援など、（株）けいはんなに対する総合的な支援をお願いします。

また、本年4月には京都府立大学精華キャンパスの産学公連携研究拠点施設が開所し、太陽光発電を利用した水循環型の新しい植物

工場の実現を目指した取組が進められているところであり、環境負荷の軽減を通じて東日本大震災の被災地支援にもつながる産学公連携の取組みに対する総合的な支援をお願いします。

◆ アジアを中心としたサイエンスパーク間の交流促進

本都市も、政府成長戦略の4本柱であるアジアをターゲットとした環境・新エネルギー分野での経済戦略を強力に展開するため、アジアのサイエンスパークである中国中関村科技園区、韓国大徳研究開発特区、台湾新竹科学工業園区との交流において、(財)地球環境産業技術研究機構や(株)国際電気通信基礎技術研究所、(独)情報通信研究機構等、我が国を代表する公的研究機関や民間企業の研究機関が地球規模の環境問題の解決や太陽電池、スマートグリッド、燃料電池、電気自動車など、日本が技術的優位性を有する新エネルギー分野で、研究・技術交流等の連携強化を進めております。

つきましては、今後、本都市が世界のサイエンスパークをリードする研究開発拠点として国際的な活動を展開していくためにも、研究内容の秘密保持や研究成果等の知的財産保護の仕組み、更には研究テーマ毎に、研究機関相互の定期的な交流を支援する枠組みの設置やそれらに必要な財政的な支援制度の創設をお願いします。

このような国際的な研究機関相互の研究交流に関する枠組みや支援制度が創設されることで、政府成長戦略に位置付けられた“アジアの「架け橋」としての日本”の役割が更に明確になり、関西企業のアジアでの展開が更に容易になっていくものと期待されます。

【厚生労働省】

◆ 「けいはんな学研都市」をはじめとし関西が一体となった国際戦略総合特区の提案

国際戦略総合特区の提案については、関係各府県及び政令市が協力し、関西の各拠点の研究開発や事業化等の取組を連携させることにより、環境・新エネルギー、ライフサイエンス分野において、我が国を牽引する新たなビジネスの創出及び海外へのビジネス展開等を目指して取組みを進めています。

その中で、けいはんな学研都市は、次世代エネルギー・社会システム実証事業やヘルスケア関連産業の先端研究等、国内外の英知を結集した世界トップレベルの研究開発拠点として次の役割を担います。

①健康・医療・バイオ系産業創出戦略

粒子線がん治療法の実用化を目指すなど、世界をリードする健康・医療産業の振興のため、ライフイノベーションを牽引します。

②環境・新エネルギー産業創出戦略

日本型スマートグリッドの構築を目指す次世代エネルギー・社会システム実証事業をはじめ、CO₂の地下貯留技術、バイオ燃料の開発など、低炭素で効率の良いエネルギー需給調整システムを早期に構築し、それを一つのパッケージとして世界標準を目指すグリーンイノベーションを牽引します。

③オープンイノベーション拠点機能の強化

環境・新エネルギー、健康・医療、食糧・アグリバイオなどの分野の世界的課題を解決するため、国内外から幅広い知見を有する研究者を集め、基礎研究から新ビジネスの創出までを行う、オープンイノベーション拠点機能を強化します。

我が国の発展及び世界経済への貢献のため、けいはんな学研都市を含む地域を関西の国際戦略総合特区として指定いただきますようお願いいたします。

◆ 「私のしごと館」の活用

「私のしごと館」の有するコンベンションルーム、オープンスペース等を活用するため、「けいはんな学研都市国際戦略総合特区」における研究開発機能の中核施設（オープンイノベーション拠点）として有効活用できるよう積極的な支援をお願いします。

【経済産業省】

◆ 「けいはんな学研都市」をはじめとし関西が一体となった国際戦略総合特区の提案

国際戦略総合特区の提案については、関係各府県及び政令市が協力し、関西の各拠点の研究開発や事業化等の取組を連携させることにより、環境・新エネルギー、ライフサイエンス分野において、我が国を牽引する新たなビジネスの創出及び海外へのビジネス展開等を目指して取組みを進めています。

その中で、けいはんな学研都市は、次世代エネルギー・社会システム実証事業やヘルスケア関連産業の先端研究等、国内外の英知を結集した世界トップレベルの研究開発拠点として次の役割を担います。

①健康・医療・バイオ系産業創出戦略

粒子線がん治療法の実用化を目指すなど、世界をリードする健康・医療産業の振興のため、ライフイノベーションを牽引します。

②環境・新エネルギー産業創出戦略

日本型スマートグリッドの構築を目指す次世代エネルギー・社会システム実証事業をはじめ、CO₂の地下貯留技術、バイオ燃料の開発など、低炭素で効率の良いエネルギー需給調整システムを早期に構築し、それを一つのパッケージとして世界標準を目指すグリーンイノベーションを牽引します。

③オープンイノベーション拠点機能の強化

環境・新エネルギー、健康・医療、食糧・アグリバイオなどの分野の世界的課題を解決するため、国内外から幅広い知見を有する研究者を集め、基礎研究から新ビジネスの創出までを行う、オープンイノベーション拠点機能を強化します。

我が国の発展及び世界経済への貢献のため、けいはんな学研都市を含む地域を関西の国際戦略総合特区として指定いただきますようお願いいたします。

◆ **企業立地促進法に基づく成長産業振興・発展対策支援事業の継続及びけいはんな地区での事業採択**

平成23年度、けいはんな地区は、本事業として「けいはんな地域グリーンイノベーション成長産業・発展対策支援事業」が採択され、「環境・エネルギー産業」、「アグリバイオ産業」および「組込みソフト産業」の活性化に向けた活動を展開中です。つきましては、次年度も本事業の継続・発展に繋がる支援をお願いいたします。

本事業は、環境・エネルギー分野やアグリバイオ分野に関する研究開発基盤や戦略基盤を構築し、産学官連携プロジェクトを創出するなかで新産業の創出を図り、また、組込みソフト産業の活性化・集積化を図ることにより、あらゆる産業の開発ポテンシャルが上がり、その結果、関西地域の産業活性化に貢献することが期待されます。

◆ 次世代エネルギー・社会システム実証事業への支援

本年3月の東日本大震災を契機に、自然エネルギーの普及や省エネルギーの重要性が改めて認識されているところですが、昨年4月、本都市は「次世代エネルギー・社会システム実証地域」として選定されたところであり、日本一CO₂排出量の少ない持続可能なモデル都市づくりに向けて、国の競争的資金による支援を受け、国際標準の獲得を視野に入れながら、各種実証事業等の取組を積極的に進めております。

本年度から本格的な地域での実証の段階を迎えることから、京都府においても、本実証プロジェクトを強力に推進するため、平成23年度において、特に、住民の皆様の積極的な参加・協力や実証事業のための環境整備に対し、新規予算を計上し、支援しているところです。

つきましては、本実証事業の我が国の経済や産業への波及効果の大きさに鑑み、本実証事業が効果的に実施できるよう、関連予算の拡充や新たな補助制度の創設等による支援をお願いします。

本都市のエコシティ化を図るとともに、けいはんなモデルとも言うべき「次世代エネルギー・社会システム」の国際展開に向けた取り組みを進めることができます。

◆ 有機性廃棄物エネルギー完全転換装置の実用化開発への支援

本都市で開発・実証を行ってきている過熱水蒸気式有機性廃棄物エネルギー完全転換装置（燃やさずに家庭ゴミ等からエネルギーを創出するシステム）の実用化に向けた取組みへの支援をお願いします。

本装置は、在来型の廃棄物処理装置に比べて小型で安価、可搬性のものであり、廃棄物からエネルギーを効率的に回収でき、家庭ゴミのほか、廃建材・プラスチック等広範な処理が可能であり、また

ダイオキシンの発生もないことから震災被災地において活用でき、復旧・復興に貢献できるものと考えています。

◆ 地域イノベーション戦略推進地域の選定及び事業化補助金等の拡充・強化

地域イノベーション戦略推進地域に本都市地域を選定いただきますとともに、事業化補助金等を拡充・強化され、本都市地域関連の事業について採択をお願いします。

高齢化社会による医療費負担の急増、高度ストレス社会による心の病の増加など、我が国の健康医療に関わる課題が顕著になるなか、今後は国民一人一人が自分の健康は自分で守るとの認識のもと、快適に長寿生活を送ることが望まれています。

けいはんな学研都市地域は、平成22年度まで地域イノベーションクラスタープログラム【都市エリア型】の「ユビキタス生体計測ヘルスケアデバイス・システムの開発」に取り組み、在宅での健康見守りシステムの骨格を整えてきました。

今後は、これまでの研究成果を事業化につなげるとともに、非侵襲・無拘束で行う無意識生体計測の研究、未病気状態での生活習慣病やストレス障害の予兆発見の研究を加えて、心と体の健康を見守る「けいはんなヘルスケアシステム」を開発し、国民の健康管理及び医療費削減、地域産業の振興等に寄与します。

◆ (財) 地球環境産業技術研究機構 (R I T E)

○ 地球再生計画具体化のための革新的環境技術開発研究費の確保、研究活動への支援

- ①地球温暖化対策と持続的発展が可能な経済社会シナリオの策定支援をお願いします。I P C C 第5次評価報告書への貢献や国内外への政策提言が期待されます。
- ②非可食バイオマス資源からバイオ燃料やグリーン化学品を製造する高効率バイオプロセスの技術開発支援をお願いします。温室効果ガスの削減、低炭素社会実現が期待されます。
- ③R I T Eが独自開発中の世界最高性能を有する「分子ゲート膜」や「固体吸収材」などの先進的なCO₂回収技術開発への支援をお願いします。CCS (CO₂回収・貯留技術) 実施コストの過半を占めるとされるCO₂分離回収コストの大幅低減を実現することによりCCS実用化が促進され、温室効果ガスの削減が期待されます。
- ④CO₂地中貯留技術に関する安全性評価技術の開発支援、及び社会的信頼醸成に必要なCCS基盤の構築支援をお願いします。CO₂地中貯留大規模実証試験の基礎技術・安全評価技術の確立とCCS実用化の促進により、温室効果ガスの削減が期待されます。
- ⑤温室効果ガス制御技術の分野における最大級の国際会議であるGHGT-11 (第11回温室効果ガス制御技術国際会議：平成24年11月に京都で開催) の開催支援をお願いします。CCSを中心とする温室効果ガスの制御技術実用化の促進により、温室効果ガスの削減が期待されます。

◆ 文化学術研究交流施設「けいはんなプラザ」及び京都府立大学産学公連携研究拠点施設の活用

(株) けいはんなは、平成20年度の民事再生計画に基づき施設の一部を京都府に寄付し、平成29年度の再建完了を目指し、新しい枠組みで「けいはんなプラザ」の管理・運営を行っています。

特に、施設の中核をなす「京都府立けいはんなホール」を中心に大規模な国際コンベンションや国内の様々な学会を数多く誘致し、国際的な技術・研究開発拠点としてけいはんなプラザを活用して頂くとともに、様々な民間企業との共催イベント開催に対する支援など、(株) けいはんなに対する総合的な支援をお願いします。

また、本年4月には京都府立大学精華キャンパスの産学公連携研究拠点施設が開所し、太陽光発電を利用した水循環型の新しい植物工場の実現を目指した取組が進められているところであり、環境負荷の軽減を通じて東日本大震災の被災地支援にもつながる産学公連携の取組みに対する総合的な支援をお願いします。

◆ アジアを中心としたサイエンスパーク間の交流促進

本都市も、政府成長戦略の4本柱であるアジアをターゲットとした環境・新エネルギー分野での経済戦略を強力に展開するため、アジアのサイエンスパークである中国中関村科技園区、韓国大徳研究開発特区、台湾新竹科学工業園区との交流において、(財)地球環境産業技術研究機構や(株)国際電気通信基礎技術研究所、(独)情報通信研究機構等、我が国を代表する公的研究機関や民間企業の研究機関が地球規模の環境問題の解決や太陽電池、スマートグリッド、燃料電池、電気自動車など、日本が技術的優位性を有する新エネルギー分野で、研究・技術交流等の連携強化を進めております。

つきましては、今後、本都市が世界のサイエンスパークをリードする研究開発拠点として国際的な活動を展開していくためにも、研

究内容の秘密保持や研究成果等の知的財産保護の仕組み、更には研究テーマ毎に、研究機関相互の定期的な交流を支援する枠組みの設置やそれらに必要な財政的な支援制度の創設をお願いします。

このような国際的な研究機関相互の研究交流に関する枠組みや支援制度が創設されることで、政府成長戦略に位置付けられた“アジアの「架け橋」としての日本”の役割が更に明確になり、関西企業のアジアでの展開が更に容易になっていくものと期待されます。

【国土交通省】

◆ 道路網の整備充実

① 新名神高速道路の早期整備

本都市と高速道路ネットワークのアクセスとなる新名神高速道路【城陽～八幡】間の着実な事業進捗とともに、現在未着工となっている【大津～城陽・八幡～高槻】も含め、早期全線整備をお願いします。

これにより、本都市をはじめとする大阪・関西経済の活性化に寄与し、また、災害時における、国土軸のデュアル化を支える広域交通インフラとしても重要な役割を果たすことが期待されます。

② 京奈和自動車道の早期整備

全国の高速道路ネットワークと連携する京奈和自動車道の早期整備をお願いします。

本都市が国際的な文化学術研究拠点として、交流と連携を一層推進し、本都市に集積する科学技術の積極的な活用が可能となります。

③ 学研都市連絡道路（一般国道163号）の全線整備及び国道24号から木津中央地区までのアクセス道路の早期整備

大阪圏の産業集積地との連携において重要性が高い学研都市連絡道路（一般国道163号）につきましては、まずは現在発生している交通渋滞の解消を最優先とし、サード・ステージ期間内（平成27年度内）で全線整備をお願いします。

また、今後、木津中央地区では計画人口1.1万人のまちびらきや京都大学大学院農学研究科附属農場の移転が予定されており、国道24号及び163号を結び、当該区間で現在発生している交通渋滞の解消に資するアクセス道路の早急な整備が必要です。

つきましては、本年度から新規事業として採択して頂きました木

津東バイパス（天神山線）の早期整備についてよろしく申し上げます。

◆ 鉄道網の整備充実

① リニア中央新幹線の東京・大阪間の全線同時開業

中央新幹線の建設に関する整備計画（平成23年5月26日付）に基づき、東京・大阪間の全線同時開業ができるよう支援をお願いします。

三大都市圏にまたがる研究開発、産業振興プロジェクトが強化され、我が国全体の競争力向上につながります。

② 京阪奈新線の追伸

大阪都心部と本都市とを直結する東西方向の幹線軸を形成するために「学研奈良登美ヶ丘～高の原（3.8km）」または「学研奈良登美ヶ丘～学研中央～祝園NT～新祝園（6.2km）」の延伸に関して支援をお願いします。

経済・文化・学術をはじめとしたあらゆる面において地域間の交流・連携を促進するアクセス手段として、また、併せて近鉄奈良線の混雑緩和が期待されます。

③ JR学研都市線及びJR奈良線の複線化・高速化

大阪都心部を經由し阪神方面と本都市とを連絡する「JR学研都市線」及び京都駅と本都市を直結する「JR奈良線」の複線化・高速化に関して支援をお願いします。

通勤通学者や市民のみならず本都市内外の多くの方々の重要な移動手段として期待されます。

◆ 面的整備等の推進

(独)都市再生機構が行う木津中央土地区画整理事業の推進及びその他の開発事業者が行う面的整備、並びに公共公益的施設の整備に対する支援をお願いします。

関西文化学術研究都市建設促進法に基づく整備はもとより、科学技術基本計画における国際研究開発拠点として整備が促進されます。

◆ 都市基盤の整備推進

本都市の窓口となるJR及び近鉄の主要駅（JR三山木、下狛及び三山木、狛田）の結節点および周辺施設整備に対する支援をお願いします。

また、本都市の安心・安全を確保する河川（煤谷川、大井手川、穂谷川、山田川、富雄川）、下水道（木津川上流流域及び本都市関連の公共下水道）の整備に対する支援をお願いします。

◆ 我が国の先進研究を推進する科学と文化の拠点形成に資する調査の継続実施

「関西文化学術研究都市の都市建設推進に資する調査」は、本都市建設促進法の制定以来国土交通省によって行われ、このことにより、都市基盤の整備促進が図られてきました。併せて、近年では我が国の先進研究を推進する科学と文化の拠点形成に資する調査も行われており、本都市の高度な運営についても十分活用できるものと考えております。

本都市は基盤整備や施設立地が現在も道半ばであり、平成27年度を目標年次としたサード・ステージ・プランの推進を目指し自治体、大学・研究機関、オンリーワン技術を持つ中堅企業の方々等と連携して様々な取り組みを進めておりますが、とりわけ産業化、広

域化、国際化の展開を通じて「国際研究開発拠点」化を図ることが強く求められていることから、今後も引き続き本調査を継続実施していただきますようお願いいたします。

◆ 「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園平城宮跡区域」及び周辺の整備促進

平城遷都1300年を契機として取り組まれる「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園平城宮跡区域」の整備促進及び周辺整備に必要な事業費の確保をお願いします。

観光交流拠点奈良の中核施設として「平城宮跡」を利活用することにより、観光交流の活性化を促進することができます。

◆ 文化学術研究交流施設「けいはんなプラザ」の活用

(株)けいはんなは、平成20年度の民事再生計画に基づき施設の一部を京都府に寄付し、平成29年度の再建完了を目指し、新しい枠組みで「けいはんなプラザ」の管理・運営を行っています。

特に、施設の中核をなす「京都府立けいはんなホール」を中心に大規模な国際コンベンションや国内の様々な学会を数多く誘致し、国際的な技術・研究開発拠点としてけいはんなプラザを活用して頂くとともに、様々な民間企業との共催イベント開催に対する支援など、(株)けいはんなに対する総合的な支援をお願いします。

◆ アジアを中心としたサイエンスパーク間の交流促進

本都市も、政府成長戦略の4本柱であるアジアをターゲットとした環境・新エネルギー分野での経済戦略を強力に展開するため、アジアのサイエンスパークである中国中関村科技園区、韓国大徳研究開発特区、台湾新竹科学工業園区との交流において、(財)地球環境産業技術研究機構や(株)国際電気通信基礎技術研究所、(独)情報通信研究機構等、我が国を代表する公的研究機関や民間企業の研究機関が地球規模の環境問題の解決や太陽電池、スマートグリッド、燃料電池、電気自動車など、日本が技術的優位性を有する新エネルギー分野で、研究・技術交流等の連携強化を進めております。

つきましては、今後、本都市が世界のサイエンスパークをリードする研究開発拠点として国際的な活動を展開していくためにも、研究内容の秘密保持や研究成果等の知的財産保護の仕組み、更には研究テーマ毎に、研究機関相互の定期的な交流を支援する枠組みの設置やそれらに必要な財政的な支援制度の創設をお願いします。

このような国際的な研究機関相互の研究交流に関する枠組みや支援制度が創設されることで、政府成長戦略に位置付けられた“アジアの「架け橋」としての日本”の役割が更に明確になり、関西企業のアジアでの展開が更に容易になっていくものと期待されます。

【環境省】

◆ 「けいはんな学研都市」をはじめとし関西が一体となった国際戦略総合特区の提案

国際戦略総合特区の提案については、関係各府県及び政令市が協力し、関西の各拠点の研究開発や事業化等の取組を連携させることにより、環境・新エネルギー、ライフサイエンス分野において、我が国を牽引する新たなビジネスの創出及び海外へのビジネス展開等を目指して取組みを進めています。

その中で、けいはんな学研都市は、次世代エネルギー・社会システム実証事業やヘルスケア関連産業の先端研究等、国内外の英知を結集した世界トップレベルの研究開発拠点として次の役割を担います。

①健康・医療・バイオ系産業創出戦略

粒子線がん治療法の実用化を目指すなど、世界をリードする健康・医療産業の振興のため、ライフイノベーションを牽引します。

②環境・新エネルギー産業創出戦略

日本型スマートグリッドの構築を目指す次世代エネルギー・社会システム実証事業をはじめ、CO₂の地下貯留技術、バイオ燃料の開発など、低炭素で効率の良いエネルギー需給調整システムを早期に構築し、それを一つのパッケージとして世界標準を目指すグリーンイノベーションを牽引します。

③オープンイノベーション拠点機能の強化

環境・新エネルギー、健康・医療、食糧・アグリバイオなどの分野の世界的課題を解決するため、国内外から幅広い知見を有する研究者を集め、基礎研究から新ビジネスの創出までを行う、オープンイノベーション拠点機能を強化します。

我が国の発展及び世界経済への貢献のため、けいはんな学研都市を含む地域を関西の国際戦略総合特区として指定いただきますようお願いいたします。

◆ 「けいはんなエコシティ推進プラン」に基づく持続可能なモデル都市づくりの推進

本都市では、「けいはんなエコシティ推進プラン」に基づき、街区全戸への太陽光パネルの導入や省エネ設備を備えた環境共生住宅（モデル街区：約300戸×3地区）の整備をはじめ、エネルギー消費の「見える化」による家庭における省エネ活動の支援、EV等への利用転換を図るための太陽光発電を利用した電気自動車用の充電インフラの整備など、持続可能なモデル都市づくりに向けて、ハードとソフト両面から施策を推進しています。

つきましては、本都市において、「けいはんなエコシティ推進プラン」に基づく、持続可能なモデル都市づくりに向けた取組に対して、「チャレンジ25地域づくり事業」など、関連予算の拡充や新たな補助制度の創設等による支援をお願いします。

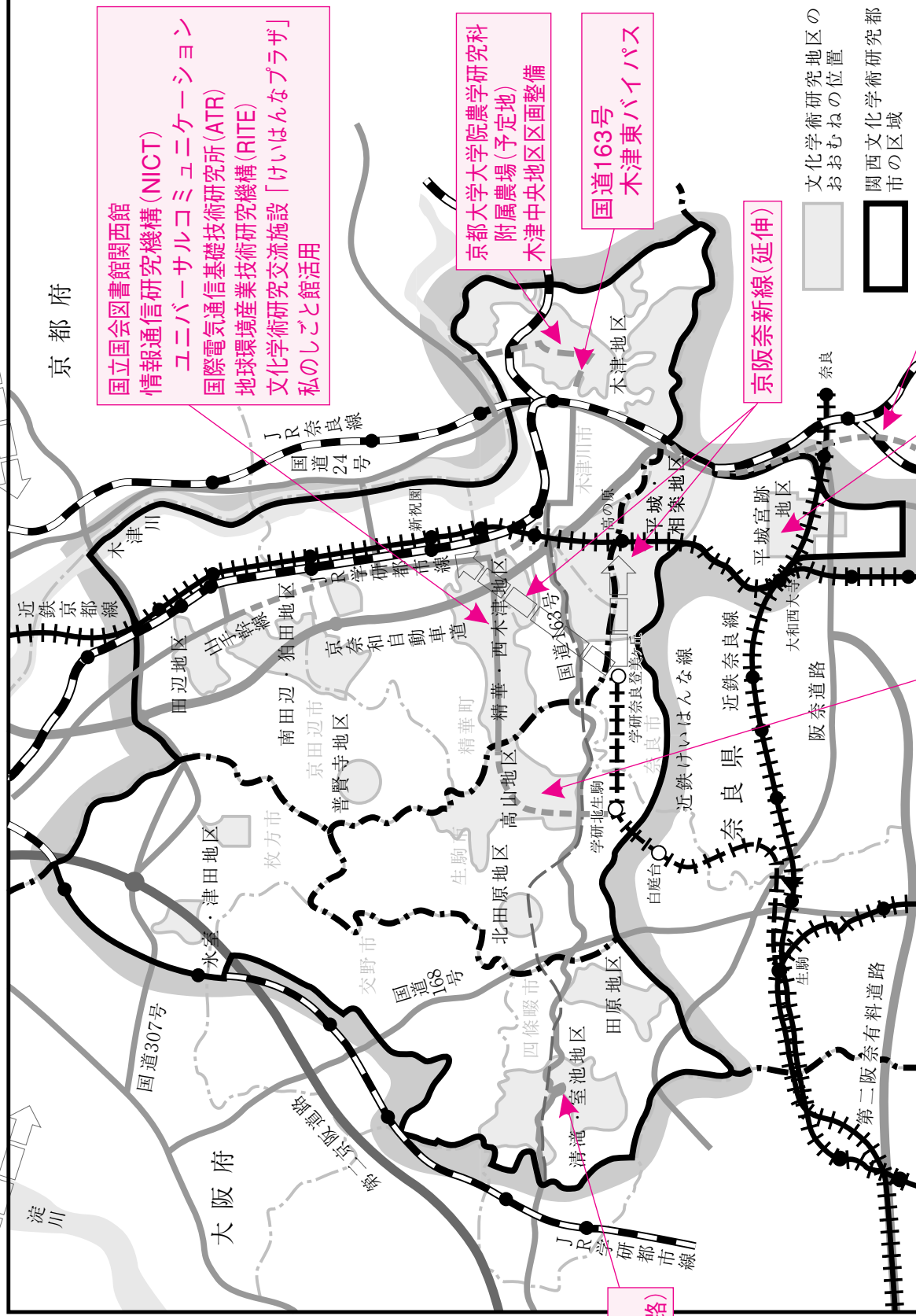
◆ 有機性廃棄物エネルギー完全転換装置の実用化開発への支援

本都市で開発・実証を行ってきた過熱水蒸気式有機性廃棄物エネルギー完全転換装置（燃やさずに家庭ゴミ等からエネルギーを創出するシステム）の実用化に向けた取組みへの支援をお願いします。

本装置は、在来型の廃棄物処理装置に比べて小型で安価、可搬性のものであり、廃棄物からエネルギーを効率的に回収でき、家庭ゴミのほか、廃建材・プラスチック等広範な処理が可能であり、またダイオキシンの発生もないことから震災被災地において活用でき、復旧・復興に貢献できるものと考えています。

新名神高速道路

新名神高速道路



国立国会図書館関西館
 情報通信研究機構 (NICT)
 ユニバーサルコミュニケーション
 国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)
 地球環境産業技術研究機構 (RITE)
 文化学術研究交流施設「けいはんなプラザ」
 私のしごと館活用

京都大学大学院農学研究科
 附属農場(予定地)
 木津中央地区区画整備

国道163号
 木津東バイパス

京阪新線(延伸)

国道163号
 (学研都市連絡道路)

京奈和自動車道

歴史公園平城宮跡

奈良先端科学技術大学院大学

文化学術研究地区の
 おおむねの位置
 関西文化学術研究都
 市の区域